

令和4年度京都広報賞受賞作品の概要

広報紙・市の部

福知山市 広報ふくちやま10月号



(審査委員講評)

表紙での特集紹介がとてまかわいく表現されており、健康に関心のある方だけでなく多くの人の興味を惹き付け、ページをめくってみたい気持ちになりますね。からだアクティブ宣言に沿ったステップが分かりやすく示され、自発的にやってみようという気持ちを醸成できており、実際のアクションプランとしてのKENPOSの利用促進にもつながっているのいいですね。冊子全体をとおしても分かりやすくデザイン、配色されており、ストレスなく最後まで目をとおせる内容になっています。



京田辺市 広報ほつと京たなべ8月号



(審査委員講評)

同規模のまちでは全国5位の貸し出し冊数を誇る図書館！という見出しは、市民としての誇りをくすぐられ関心が一気に高まります。また図書館の取組だけではなく利用者の声を取り上げることで利用してみたいというアクションまで狙った内容になっています。記事コンテンツの見出しキャッチに惹き付けられ、サクサク読んでしまう印象です。またページのツメが施されインフォメーションページは天を黒塗りにしていることでページ位置が分かりやすく設計されています。

広報紙・町村の部

知事賞

久御山町 広報くみやま12月1日号



(審査委員講評)

「まちのがっこう」のイベントが盛り上がり賑わいのある雰囲気が伝わってきます。表紙写真からは、若者もいる、全世代誰もが参加できる、だれもが楽しくチャレンジしている様子がうかがえます。まち散歩企画とうまく連動がとれたページ展開ができていてとても読みやすくなっていて、市が推進している「全世代・全員活躍のまち」が伝わった内容になっています。

会長賞

京丹波町 広報京丹波令和4年12月号



(審査委員講評)

消防団の全国大会出場を大きく取り上げ、日々の訓練の厳しさ、消防にかける団員一人一人の思いを伝えることで、京丹波町の消防、地域の安全安心のために頑張っている人がいることが町のみなさんに伝わる力作ですね。対象号は町のみなさんが登場するコーナーが多く、町民に親しまれている印象がもたれ、関心をもって読み進めることができると思います。

写真・1枚写真の部

知事賞

京丹後市
広報京丹後
11月号1ページ
たかはし かなの
(高橋奏乃さん)

(審査委員講評)

撮影場所の選択、アングル、カメラ設定、シャッタータイミングと文句なしです。画像加工もやりすぎず丁寧で、レイアウトと文字の置き方もすっきりとしており読みやすいです。無理な注文は承知の上ですが、被写体がページを開く方向の左向きに走っていれば次のページへの視線誘導となり、最高だったと思います。



広報
Public
Relations
Kyotango
京丹後11
October.25 2022 Vol.224

会長賞

京丹波町
広報京丹波
令和4年6月号1ページ
うえだ
(上田さくらさん)

(審査委員講評)

子どもたちのポーズや表情がいきいきとしていて、広角で迫力のあるフレーミングも秀逸。空の青とピンクの移動図書館の色の対比も素晴らしいです。表紙用写真として画面比率がしっかりと考えられており、写真の上に置いた文字もとても読みやすくレイアウトされています。後ろの方にいる子どもの顔を明るく調整すればより良かったかと思います。



写真・組み写真の部

知事賞

福知山市 広報ふくちやま4月号12,13ページ きらきょうぞう (吉良恭蔵さん)



(審査委員講評)

コロナ禍で一般公開できなかったイベントの臨場感を伝える、という目的がしっかりと果たされた組写真です。場所と状況の説明や市民参加であることも表しつつ、メリハリの効いたレイアウトに仕上がっており、大きく使った能面の写真からは恐ろしい程の迫力が伝わってきます。

会長賞

亀岡市 広報かめおか12月号4,5ページ

おぎの かずゆき こぐれ ゆうや たたき みなこ やながわ としひさ
(荻野和幸さん、木暮湧也さん、田滝美奈子さん、梁川季久さん)



(審査委員講評)

祭りに出る人、見る人、全ての人の輝きが伝わってくる組写真に仕上がっています。キャプションが秀逸で、デザインも良いのですが、素敵に写っている人々の視線が紙面の外を向いている写真が多いのが残念。次回のレイアウトはそういったセオリーも考慮してみてください。

映像・委託制作の部

知事賞

久御山町 久御山町プロモーション動画



(審査委員講評)

映像の展開がスピーディーで、撮影された映像も各シーンごとの画角などもよく計算されています。夜のジャンクションのドローン映像はダイナミックさと美しさを感じ素晴らしいです。久御山町のPRポイントも各ブロックごとに簡潔に説明されており、現場音の生かした方や特別機材の使い方も申し分なく久御山町の魅力がよく伝わります。今回の映像制作を進める中で、担当者が街の魅力を洗い出し制作会社と擦り合わせをしっかりとした努力が表れています。メディア関係者の中でも久御山町は取材ネタが少ないと言われていたもので、今回の映像には様々な久御山町の魅力が紹介されており今後、この映像から様々な展開が期待されます。

会長賞

京都市 『テルマエ・ロマエ-京都篇-』 第1話・第2話



(審査委員講評)

YOUTUBEの視聴者特性を理解し、その世代に対するアプローチとして人気マンガとコラボを考えた点が良いです。映像の展開もスピーディーで、若い世代にはハマりやすい作品になったと思います。背景に老朽管更新の財源確保という行政ならではの問題がありますが、お風呂文化に着目した点も担当者がこの問題に対してどう取り組んでいくのが良いか熟考した結果だだと思います。マンガとのコラボは批判も出がちですが、PRを考える上で最後のアウトプットマンガになっただけで間違っていない。人に伝えるためにはインパクトも必要なのでこの大胆な発想は今後も大事にして欲しいです。

映像の部

知事賞

京丹波町 京丹波町民大学 事前講座



(審査委員講評)

難しいテーマで手を出しにくい企画ですが制作者の覚悟とプライドを感じられる作品で素晴らしいです。町民講座だけでは難しい内容だと思いますが事前講座として映像化した点も良いです。映像制作者は番組という枠にとらわれがちですが、町民へ届ける一つのツールであることをよく理解しています。幅広い視野があるからこそ今回こうしたテーマに取り組んだと思われまます。

事前に資料を読み込み勉強した成果と歴史的資料の素材取り寄せの手間も相当あったと思いますが、惜しまない努力の成果が視聴者に伝わる作品となっています。

食や風景など映像技術を駆使した軽快なプロモーションが主流の中で、「地域を知る」「地域に興味を持つ」ための歴史を紐解く今回の番組は大変貴重です。

会長賞

亀岡市 【京都・亀岡市】職員採用コンセプトムービー（事務編）



(審査委員講評)

質感の良いレンズで撮影されており、ドローンやジンバルなどの特殊機材もうまく使いこなせています。インタビュー形式は編集が難しく、素人では手を出しにくいですがポイントとなるコメントのチョイスが抜群で、伝えたいポイントがしっかり抑えられています。インサートに入っている3名の座談風景もこの自然な笑顔を撮影するのは難しいです。現場でディレクターが取材対象者を上手くのせて撮影した成果だと思います。映像制作という視点では大変良く出来ています。

一方、初見で見ると制作側の意図を伝えるという視点ではテロップは効果的に入れた方が良いでしょう。そうすることで視聴者に伝わる情報量が格段に上がります。

府民賞

長岡京市 長岡京ライフ9月号

〈府民賞〉 府民から見た広報紙の読みやすさ、見やすさをWEB投票によって決定。

あれから50年

Life

9月号

2-3 長岡京の歴史をたどる、 4-5 100周年の節目に振り返る、 6-7 100周年のイベントの開催、 8-9 20年経っても変わらない、 10 100周年を祝う。

11 洲本町長選挙のニューフェイス、 12-13 読者の声、 14-15 長岡京の歴史をたどる、 16-17 100周年の節目に振り返る、 18-19 20年経っても変わらない、 20-21 長岡京を祝う。

長岡京の歴史散歩いかが。

中山修一記念館

15周年 歴史を学ぶ、学びを伝える

対話ウィーク

10月1日(日) 10時～15時

市民企画講座

長岡京の歴史をたどる

情報INDEX

長岡京市民会館

10月2日(日) 10時～15時

対話ウィーク

長岡京の歴史をたどる

市民企画講座

市民企画講座

長岡京の歴史をたどる

市民企画講座

長岡京の歴史をたどる

市制施行50周年記念フォーラム

サステナブルな長岡京へ

10月1日

長岡京記念文化会館

午後15分

サテライト株式会社 代表取締役 工藤 伸也

ゼロカーボンシティ 長岡京への挑戦

muRata

長岡京市 市長 中澤 隆

SUSTAINABLE GOALS

(主な意見) 文章と写真や挿絵のバランスが良く見やすい。情報量が多いですが、読者を飽きさせない工夫があり、歴史も写真から読み取れて読んでみたいと思った。地元の子供達の美術作品などの紹介ページがあるのもよかった。